

月刊ニュース 平成 29 年 6 月号

大連アカシアウオーキング大会に参加！

2017年5月26日（金）～5月29日（月） 4日間

今年も「大連アカシア巡りウオーキング大会」の招待状が大連中日友好協会より参りました。募集しましたところ、理事長始め18人が参加しました。

昨年初めての試みで、今年は第2回目。最初の大会では、ホテルにチェックインする時からいろいろトラブルがありましたが、今回は素晴らしく改善されて、ほとんどの工程が完璧なスケジュールの中で進みました。

今回のプログラムの中で自由時間がとってあり、その中で個人的に美術館に連れて行ってもらったり、元舞鶴市国際交流員の方々に夜の大連市散策に連れてってもらったり、大連市民がよく行かれるスーパーマーケットでの買い物にも同行してもらったりと、それぞれに楽しいひと

時を過ごし、買い物もできて大満足の舞鶴市民団でした。

最後は大連市で有名な食べ物、「火鍋」に連れて行ってもらいました。元大連の領事館員であった倉橋さんのお薦めレストランです。本当に美味しくて、辛くて、汗を掻きながら、鼻をすすりながら、咳き込みながら、黙々と食べました。最高でした！デザートが出てそろそろ終わりの頃に、なんと特別の取り計らいで、「変面」登場！皆さん、私たちの目の前で本当に、本当に、顔が変わるんですよ！何とか、トリックを見つけようと目を凝らすのですが、最後まで分かりませんでした。こんな素敵な夜をお世話してくださった倉橋さん、元国際交流員の鄒悦さんに心から感謝しています。

今回の旅で、大連中日友好協会の「おもてなし」「心配り」に感動しました。日本人の「おもてなし」は世界一だと自負していましたが、とんでもない、大連市の事細かな心配り、大勢のボランティア活動参加者、歓送迎会の食事手配、どれをとっても、「凄い！」の一言です。舞鶴に来られたら、果たしてこのようなおもてなしが出来るのか・・・不安になりました。

また、来年も招待状が届くのでしょうか？もし、次回チャンスがあったら、ぜひ皆さん、参加してみてください。こんなに日本人を大切に思って、接待してくれる都市が中国にあるんです。見方が変わるかもしれませんよ！



大連空港で熱烈歓迎！



スーパーでお買い物♪



ウォーキング大会 大連高校生ボランティアと英語での会話風景



本当に不思議！変面との出会い

クルーズ来航時の通訳業務

平成29年度には、舞鶴に40回を超えてクルーズ船が来航します。

その中でも大型クルー「コスタ・ネオロマンチカ号」(5万7千トン、乗客定数1,570名)が32回やって来るようになっており、既に12回程やって来ました。このコスタ・ネオロマンチカの来航時の乗客対応に対して、西舞鶴埠頭及び、JR西舞鶴駅での「英語、韓国語、中国語による専門通訳ガイド」依頼が、市と契約した業者を通して私達の協会にありました。

この依頼を受け、ボランティア部の中で通訳者登録して頂いている方がその業務に当たっています。協会が主催している外国語教室の講師をしている方や受講者の方、あるいは協会と協力関係にある方々達を含め、現在、英語2名、韓国語1名、中国語1名、計4名の業務に毎回その力を発揮して頂いています(毎月4～5回)。乗客やクルー(船員：殆ど全員が外国人)の方も良く私たちのインフォメーションに立ち寄り、英語、韓国語、中国語等で、いろんな質問をされます。

次回は、6月30日(金)、7月5日(水)、7月10日(月)のいずれも13時過ぎに舞鶴に接岸し、乗客や船員が船から降りて舞鶴市内で食事や散策をします。また、宮津、天橋立を含めて近隣の名所旧跡へ向かう人たちも大変多いです。クルーズ船は通常、22時頃、舞鶴を出航します。

舞鶴やその周辺の町の地理や自然、交通手段、食堂等の情報をしっかり学習しながらいろんな質問に対応しています。会員の皆様も機会があったら立ち寄ってみてください。

舞鶴高等専門学校留学生との交流を終えて

今年度も、恒例の舞鶴高等専門学校の留学生と、舞鶴国際交流協会文化交流部会の交流会が6月18日（日）午後1：30より行われました。当日、高専の留学生アーミーさん（タイ）・リキさん（マレーシア）、そして遠くアフリカからイポリテさん（ルワンダ）をお迎えして、さらに大連の国際交流員の李さんや他の部会の交流員も参加し、総勢11名でとても有意義で貴重な交流の機会を持ちました。

リラックスした雰囲気、それぞれのお国自慢。「物価が安い。特にバナナがおいしくて安い。」「雪が降らないので、雪かきをしなくてよい。」「1年中35℃前後の気温だけれど、蒸し暑くなくカラッとしている。」等々。3人とも3カ国以上の言葉が話せるトライリンガル、4カ国以上の言葉が話せるマルチリンガルの人たちでした。マレーシア出身のリキさんは祖父母が中国系であるが、家庭では英語、学校では中国系の学校で中国語での会話だったとのこと。ルワンダ出身のイポリテさんはルワンダ語以外にスワヒリ語、フランス語・英語と私会話のエキスパートでした。そんなエキスパートたちも、学校の授業で日本語の専門用語と、先生たちの「舞鶴弁」には苦労したそうです。

タイ出身のアーミーさんは、タイ語でタイの首都バンコクの正式な名称を教えてくださいました。世界一長い名称ですが、アーミーさんはまるで絵画のような、日本の数字のようなタイ語で、すらすらと白板に書き紹介してくれました。私は、残念ながら表記できませんが、カタカナ（家に帰ってから読み方を調べました）で紹介します。「クルンテープ・プラマハーナコーン・アモーンラッタナコーシン・マヒンタラーユッタヤー・マハーディロックポップ・ノッパラット・ラーチャタニーブリーロム・ウドムラーチカニウェートマハーサターン・アモーンピマーン・アワターンサティットサッカタッティアウイサヌカムプラシット」と言うそうです。しかし、この名称すべてで呼ぶ人はいないようで、タイの人は初めの語「クルンテープ（天使の都）」と呼んでいるそうです。素敵な名前ですね。

舞鶴との姉妹都市大連の国際交流員の李さんは、みなと振興・国際交流課に所属されていて、母国では大連交通大学で、日本語を教えておられます。非常に堪能な日本語で、中国の民族の多様性、漢民族が92パーセントを占める中、残りの8パーセントに56の少数民族がいて、大学入試なども優遇されて、共存を図る施策がとられていること。大連には親日家が多いこと。中国全土でも、日本への旅行等を通じて、日本への理解が深まっていること。食事が美味しいこと等話されました。

その後、日本の文化を体験してもらおうと、「抹茶を茶筌で点てる」体験をしてもらいました。最初は緊張気味でしたが、回を重ねるごとに上達し、抹茶ソフトクリームが浮かんでいるようなフワツとした仕上がりになり、谷口先生から褒めてもらいました。

最後に、塩尻さんから英語での閉会の挨拶がありました。困っていることがあれば力になると、問題解決の窓口も紹介され、留学生の皆さんも安心されたことでしょう。

短い時間ではありましたが、私たち国際交流部員も、それぞれの国について知っていると思っても、まだまだ知らないことがいっぱいある事を改めて学びました。勉強に忙しい中、参加くださいました舞鶴高専の留学生の皆さんありがとうございました。李さん、国際交流協会の皆さんお世話になりました。お陰様で貴重な時間を過ごすことができました。

ちゃったまつり前夜祭の民踊ながしに参加しませんか！

西地区商店街を踊りながら練り歩きます。簡単な踊りですぐ覚えられますよ。

いい汗を流した後は、冷たい飲み物と軽食で交流しましょう。

- 日 時 平成29年7月29日（土）18：30～20：45
- 場 所 民踊ながし（西地区商店街）→ 交流会（西市民プラザ）
- 参加費 交流会に参加される方のみ500円
- 締 切 平成29年7月20日（木）
- 申し込み 舞鶴国際交流協会 TEL 0773-75-8801
FAX 0773-75-8802

氏名、連絡先、交流会に参加するかどうかをお知らせ下さい。

（注）集合の場所と時間は後日連絡しますので、Eメールアドレスのある方は差支えなければお知らせ下さい。

